

第2回精華町健康総合拠点施設のあり方検討会議 議事録

日時	平成30年12月18日(火) 午後1時30分～
場所	精華町役場 庁舎6階 審議会室
出席者	桂会長、中川副会長、三沢委員、中西委員、田中委員、地主委員、長谷川委員、南委員、森委員 以上9名 (欠席 内田委員、藤村委員)
次第	1 開会 2 議事 (1) 健康総合拠点施設整備基本構想案について (2) 今後のスケジュールについて (3) 意見交換 3 その他 4 閉会 <配布資料> ○ 精華町健康総合拠点施設整備基本構想 構成案(資料1) ○ 精華町健康総合拠点施設整備基本構想(案)(資料2) ○ 今後のスケジュールについて(資料3)

1 開会	委員11名中、9名の出席により、過半数を上回っていることから、本委員会は成立。 前回欠席委員よりあいさつ。
2 協議	議事(1) 健康総合拠点施設整備基本構想案について
事務局	資料1～2について事務局より説明があった。
会長	住民目線から見た「施設整備の方針」について 「施設整備の方針」について、町目線で新施設をどうするかは記載されているが、健康づくりの拠点という施設の役割を考えると住民目線での新施設のあり方を記載してはどうか。
田中委員	行政からの押しつけでなく、住民の方の意見を聞いて、住民の発想で考えていく必要がある。
田中委員	拠点の立地について 今回の資料では立地が示されていないが、拠点の立地が明確になればより、構想を深めることができる。
事務局	立地については、5ページの「新施設整備に係る機能要請」において、「町の「センター施設」としての機能が発揮できるよう、最適な立地を図る」と記載している。具体的な立地については、来年度の基本計画で検討していく。
中西委員	町内のハザードマップをみると、近鉄の線路よりも東側の立地だと、水害に遭う可能性が高い。
事務局	ハザードマップの内容も十分に配慮して立地を検討していく。
南委員	新施設整備に係る機能要請について 新施設整備に係る機能要請として、「健康長寿を目指した包括的な支援体制の拠

事務局	<p>点」とあるが、どのような取り組みをするのか。より具体的にイメージできるよう記載していただきたい。</p>
事務局	<p>健康寿命の延伸に向けては、住民活動の包括的な支援と、自然に人が集まり、交流できることをコンセプトとしている。表現については再度検討したい。精華町が一番力を入れている健康長寿、健康づくり運動の特色を健康総合拠点の中で出していくべきということで、より具体的に項目を明記していく。</p>
田中委員	<p>住民活動の周知について 精華町には多くの住民活動があり、健康長寿にも関わっているが、住民には浸透していない。住民活動を周知していく必要がある。</p>
長谷川委員	<p>健康総合拠点施設の枠組みについて 6 ページについて、保健センター、子育て支援センターと、それらをつなぐ健康長寿を目指す施設という 3 本柱にしてはどうか。</p>
事務局	<p>現時点では保健センター、子育て支援センターと表記しているが、健康総合拠点では住民の健康づくりへの関心を高めて、健康長寿につなげていくと想定している。もう少し読みやすくなるよう整理させていただく。</p>
地主委員	<p>6 ページの基本機能に「センター」が入っているためにわかりにくくなっている。保健センター、子育て支援センターが持つ基本機能を整理してはどうか。また、「グループダイナミクス」、「ICT」といった表現は住民の方にはわかりづらい。注釈を付けるか、わかりやすい言葉に変えていただきたい。</p>
田中委員	<p>施設整備の方針について 「施設整備の方針」は住民と共有する必要があるので、もう少しわかりやすい文言にさせていただきたい。</p>
会長	<p>施設のイメージ②適切な保健・子育て支援サービスが提供できる場所について 母子保健の観点から子育て支援センターについては「切れ目のない支援」という表現を用いている。それに加えて、健康長寿を含めた保健の観点から「ライフコースを通じた切れ目のない」といった表現を用いてはどうか。</p>
森委員	<p>施設のイメージ①災害時の拠点のあり方について 8 ページに「災害時への備えがある」に関して、感染症などの対応について具体的に教えていただきたい。また、「要援護者の支援調整を担う」とは具体的にどのようなことか。</p>
事務局	<p>具体的な検討にまでは至っていないが、災害発生時には、町外から様々な援助活動が来る。それらを調整する機能が必要だと考えており、その拠点をイメージしている。</p>
森委員 事務局	<p>京都府災害ボランティアセンターとの連携を図るということか。 「危機管理の拠点のひとつとして」と記載しており、健康総合拠点、町役場、ボランティアセンター、医療機関などそれぞれでの役割分担が想定される。ご意見を踏まえ、誤解を招かないよう、記載内容について検討させていただく。</p>
田中委員	<p>9 ページの③④⑤は表現が重複しているように読み取れる。もう少しまとめてはどうか。</p>
田中委員	<p>他の委員会との連携について 縦割り、横割りで似たような委員会がたくさんある。重複しているのももう少し整理ができないか。</p>
事務局	<p>役場内部で十分に連携を図っていきたい。</p>

事務局	<p>議事 (2)今後のスケジュールについて 資料3について事務局より説明があった。</p>
田中委員	<p>パブリックコメントについて 精華町ではさまざまなパブリックコメントが行われているが、意見が十分に集まっていない。多くの方から意見がもらえるよう工夫していただきたい。</p>
事務局	<p>町の指針に沿って、広く意見を募集できる方法について検討したい。</p>
	<p>議事 (3)意見交換</p>
南委員	<p>年代別にみた健康づくりの課題について 年代別の健康課題を明確に設定しているのか。</p>
事務局	<p>年代別ではないが、健康増進計画では4つのテーマを掲げて健康づくりに取り組んでいる。「食」、「運動」、「こころの健康」、「健(検)診」の4つである。</p>
南委員	<p>精華町ではさまざまな健康づくりが行われているが、ちょうどよいボリュームなのか、まだ足りていないのか。まだまだニーズがあるとも考えられるが、どのように把握しているのか。</p>
事務局	<p>精華町では、「住民の主体的な健康づくりを進める」を1つの柱として、住民がやりたいことを作る場所を提供している。その中では、成人期の活動が中心になっている。というのも、例えば子どもでは、母親の育児サークルでの活動が活発となっている。そういうこともすべて含めると、ライフステージ全体で住民主体の活動はできていると認識している。</p> <p>一方、行政の健康づくりは健診や相談等になるが、受診率といった目標から見ると、まだ不十分な点もある。</p>
南委員	<p>健康づくりの住民活動について さまざまな住民活動が行われているが、それらを一覧できるものがない。住民活動が多いのか、少ないのかを把握できない。ウォークが同じ日に複数活動していることもあれば、文化サークルで健康的な活動をしていることもある。</p>
事務局	<p>住民活動全体を把握し、それらを住民に周知する形が望ましいのではないかと考えている。住民活動全体を把握できていないことは課題と考えている。また、これから先もさまざまな住民活動が出てくると考えられるので、発信方法について考えていく必要がある。同時に、団体同士の出会いの場も検討する必要がある。</p>
副会長	<p>健康づくりに向けては、自分自身で選択することが重要である。一方、何をしているかがわからないのは事実なので、健康総合拠点に掲示板を作るなどの発信方法が考えられる。ただし、健康総合拠点なので、健康に関連している必要がある。</p>
副会長	<p>防災拠点としてのあり方について 予期せぬ災害が発生している現在、健康総合拠点を災害に対応できる施設にしてほしい。例えば、災害時にドクターヘリが発着できるなど、そういうことも踏まえて場所を選定する必要がある。命に関する一番大切な施設という視点で検討していただきたい。</p>
田中委員	<p>精華町と木津川には水道タンクがあるが、地震等で崩壊すると乾谷の方に被害が発生すると懸念している。安全面ではどのようなになっているのか、確認していただきたい。</p>
	<p>子育て中の母親の健康づくりについて</p>

三沢委員	<p>子育て中の母親は乳幼児健診に來たり子育て支援センターに來たりするので子どもの健康づくりは広がっている。一方、母親は子育てに一生懸命で自分の健康をおろそかにしてしまう。健康総合拠点によって、母親が乳がん検診を受けてみようとなるようになってほしい。</p> <p>母子保健からライフステージを通じた健康拠点という考え方は京都府内でもない考え方であり、ぜひ、実現していただきたい。</p> <p>8 ページと 9 ページに関して、基本計画の内容になると思うが、子どもの事故予防の啓発コーナーの設置について検討をお願いしたい。</p>
会長	<p>健康づくり全体について</p> <p>健康づくりをライフステージ全体でやっていただきたい。</p> <p>健康づくりは施設の問題ではない。健康づくりは「知らず知らずのうちに」が大事であり、まちづくり全体で考える必要がある。都市計画も含めて、町全体で取り組んでいただきたい。</p> <p>また、健康づくりは本人の選択が基本となるが、住民活動や施設を利用しづらい人もいる。そのような人たちに対して、健康総合拠点がどのように関わることができるかを検討していただきたい。</p> <p>総じて、健康ではない人たちに配慮した目線で考えていただきたい。</p>
<p>次回委員会の日程について</p> <p>第 3 回策定委員会</p> <p>日時 平成 31 年 1 月 29 日 (火) 午後 1 時 30 分～</p> <p>場所 精華町役場 庁舎 6 階 審議会室</p> <p>事項 構想最終案、パブリックコメントの方法について</p>	